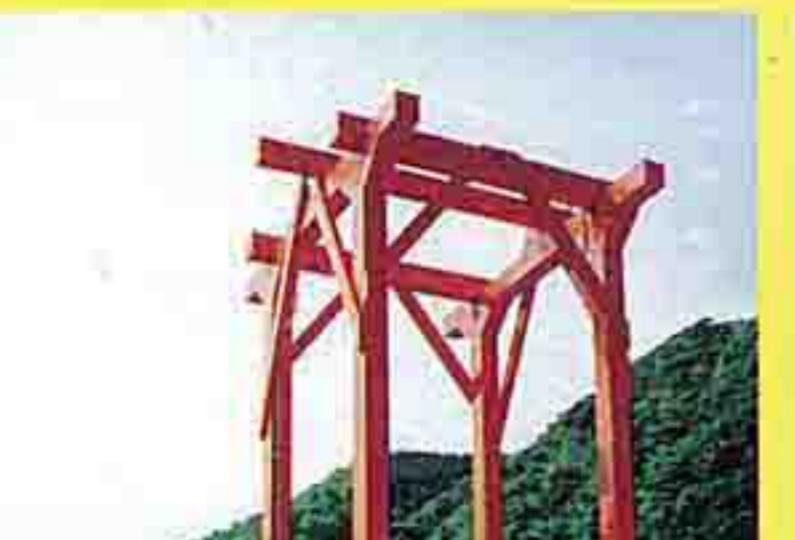


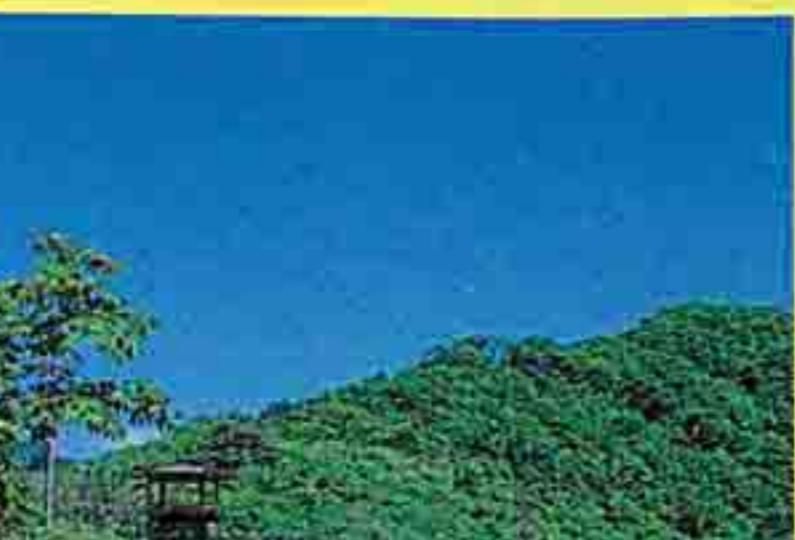
昆布岳近辺 観光ポイント



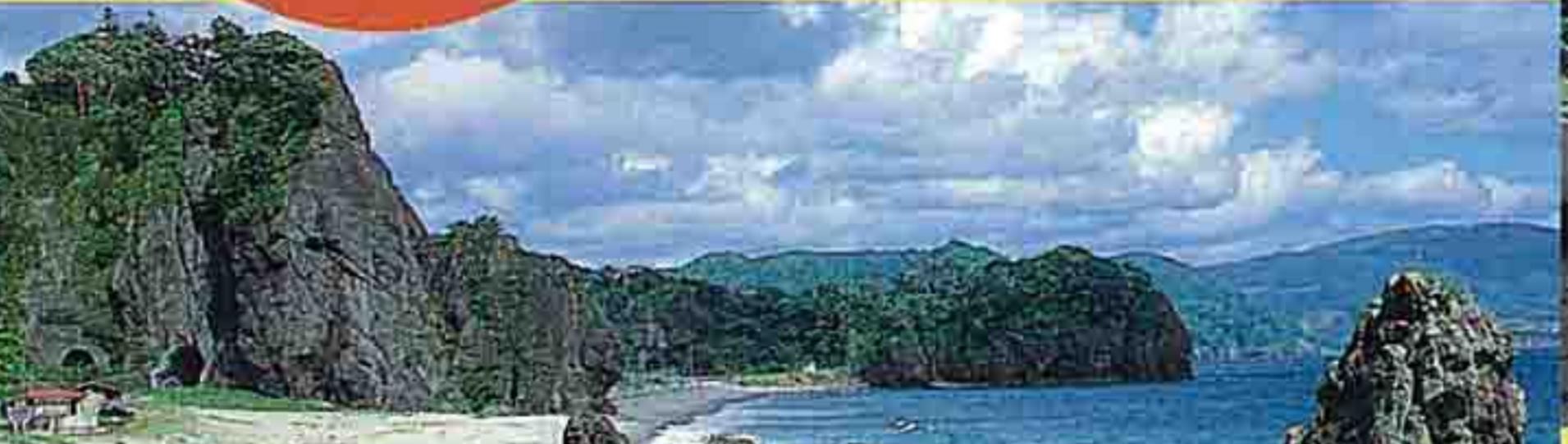
礼文華キャンプ場



インディアン水車公園



カムイチャシ史跡公園



大岸第二キャンプ場



豊浦浜町キャンプ場



文学碑公園

(1)交通

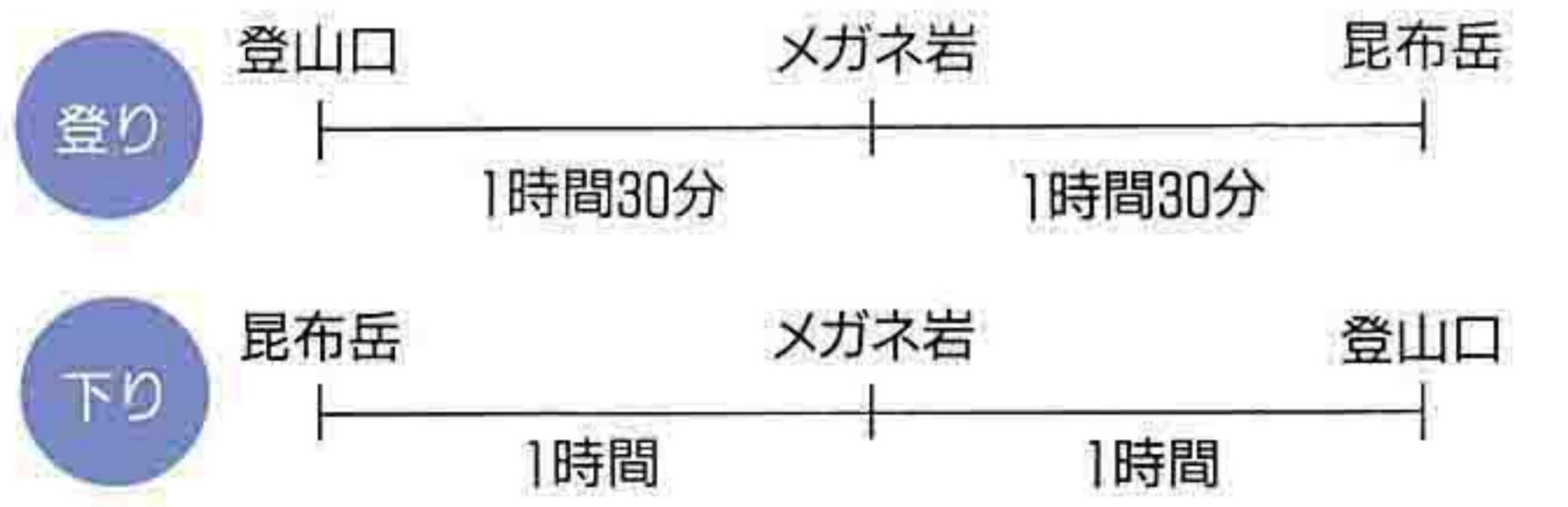


(2)マイカー情報



真狩・豊浦を結ぶ道道の美和と、昆布・大岸を結ぶ道道と新富をつなぐ農道の中間地点に登山口の標識が立っている。駐車スペースは数台分ある。

(3)コースタイム



(4)登山適切期間

6月初旬～10月下旬

※冬期は山スキーコースとなります。



お問い合わせ

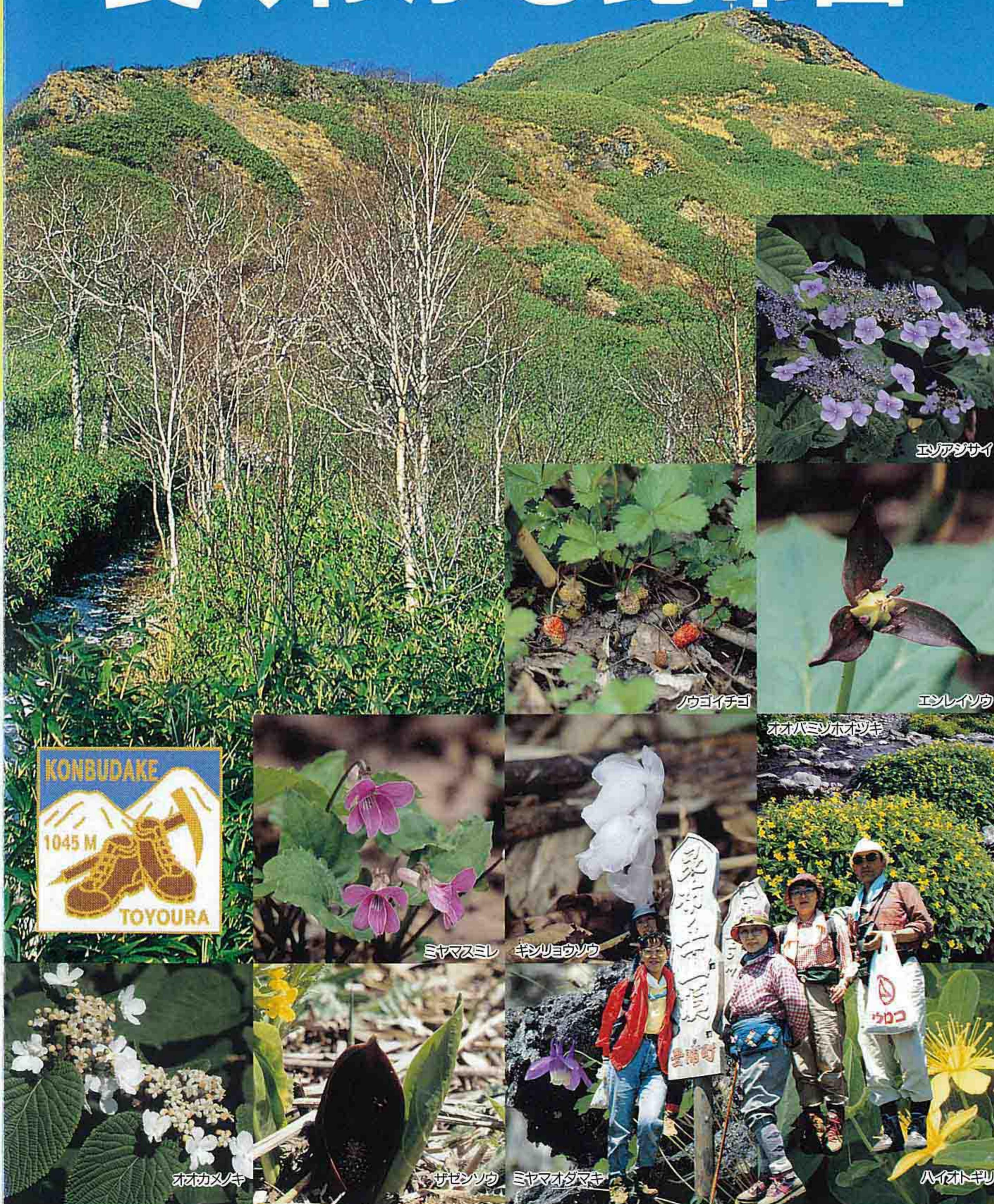
豊浦町教育委員会社会教育課 ☎ (0142) 83-2239・83-2939

豊浦町役場林政商工課

☎ (0142) 83-2121

昆布岳登山道路ガイド

良くわかる昆布岳



昆布岳

昆布岳は豊浦町とニセコ町の境界をなす標高1045.1メートルの山で、山頂部がぽこんと突出しているため非常に印象的な姿をしています。展望がよい昆布岳は、貴重な高山植物や珍しい動物も生息し、頂上右30メートルのところには、山岳信仰の靈山として名高い奈良県の金峰寺にかかるる石碑があり、古くから信仰の山としても知られています。

名前の昆布は、アイヌ語の「トコンポ・ヌブリ」(小さなコブ山)からきています。伝説でむかし、海嘯のとき昆布が山までかかったとあります、それは後人のこじつけ話であり、むかしはコンボヌブリを混保岳と書いたもので、昆布とは関係はありません。



ニセコ方面より望む昆布岳

登山口から頂上までの5.7kmのコースの所用時間は、登り三時間、下り二時間の初心者にも登り安い山です。笹山なので展望も比較的よく、有珠山、洞爺湖の中島などのダイナミックな景観が楽しめます。

登山口へは真狩と豊浦を結ぶ道道898号の大和から「美和3キロ」の標識に導かれて美和へ行き、南下して「新富14キロ」の標識で右折、4キロほど進むと農家の前に登山口の大きな看板が見えます。山の反対側には駐車場と簡易トイレがあります。

農道を横断して農家脇から歩き始めてください。この道は林道の跡を利用しているので傾斜もなだらかで幅も広く、しばらく歩いても道の状態は変りません。古い造材道を利用したコースが七合目付近まで続き、整然としたカラマツ林を抜けると一合目、それからしばらくは皆伐されチシマザサの広がる斜面に緩急を繰り返すだけの単調な道が続けます。

三・五合目で山腹を巻く林道を横切り、さらに単調な登りが続きますが振り返るといつでも景色が見えます。五合目でわずかな下りとなって右手にメガネ岩が現れます。細い岩稜の腹がくりぬかれたように大きな穴が開き、向こうの景色が覗き見れます。



登山道



メガネ岩



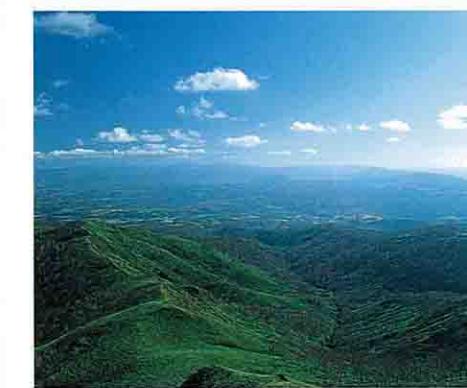
山頂から望む風景



八合目より山頂を望む



羊蹄山と尻別山



山頂から見る洞爺湖



山頂にて

再び単調な登りが続きますが、周囲は細いダケカンバの林に覆われ、笹も高さと太さを増して視界をさえぎり、展望を失います。

七合目でようやく山道らしくなり、わずかに下って急な登りで八合目を過ぎします。左手に水場への刈り分けがありますが、確実に水の得られるのは融雪期だけです。

九合目には最後の急登があります。尾根筋を外すと遙か下まで笹の斜面が落ち込んでいるので、高感度を味わえます。ハイマツの稜線に出て再び笹の刈り分けを登りきると一等三角点の頂上となります。

待望の頂上からは北には羊蹄山とニセコの山々、東に洞爺湖、西に大平山や長万部岳、南に内浦湾と駒ヶ岳のシルエットという、素晴らしいパノラマが広がっています。